



長谷川貞信「都名所之内四條橋より繩手通大和橋を望」

資料に親しむ会

雨と雪の風景版画

令和5年度
第 9 回

細い線で雨を描く。
色のない雪の白さを表現する。
雨景や雪景を描いた版画には、とても魅力的な作品がたくさんあります。でも、雨や雪の風景をあえて描くのはなぜ？

木版画で表現される雨や雪の美しさにフォーカスして、京都の風景版画を読み解きます。

日時 令和 6 年 1 月 9 日 (火)
14:30 ~ 15:30 ※14:00 開場

会場 京都学・歴彩館1階 小ホール

定員 70名 (当日受付)

講師

京都府立京都学・歴彩館
資料課
大瀧 徹也

小ホール

